

# 算数科学習指導案

日 時 令和2年10月15日(木) 5校時  
 児 童 滝川市立西小学校 6年1組24名  
 指導者 (T1) 池端健二 (T2) 吉田守利

## 1. 単元名「比」(教育出版 6年)

## 2. 単元について

### (1) 目標

- 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。
- 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

### (2) 単元の指導計画及び評価計画

全	学習活動	観 点			
		知・技	思・判・表	態度	〈評価〉
					〈振り返る活動の視点〉
1・2	<p>比の意味と表し方、比の値について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミルクの量とコーヒーの量から、比の意味と表し方を知る。</li> <li>・比で表した2つの量の割合を考えて、比の値を知る。</li> </ul>	○	・	○	<p><b>知・技</b>比の意味や表し方を理解している。2つの比が等しいときは、比の値が等しくなることを理解している。</p> <p><b>思・判・表</b>比の意味や「比は等しい」ことの意味について、図や式を用いたり割合と関連付けたりして考えている。(第1～5時を通じて評価)</p> <p><b>主</b>比を用いて比べるような具体的な場面について、その意味や比べ方を粘り強く考えたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。(単元全体を通じて評価)</p> <p>ア①、ア②、イ②、イ③</p>
3	<p>比の性質について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2:3と4:6が等しいことを確認し、比の相等関係について考える。</li> </ul>	○	・		<p><b>知・技</b>比の前の数と後ろの数に同じ数をかけたり、同じ数でわったりしてできる比は、すべて等しい比になることを理解している。</p> <p>ア①、ア②、イ①、イ②、イ③、イ④</p>
4	<p>比の性質を用いて、比を簡単にすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比の性質や比の値の考えを使って、比を簡単にする方法を知る。</li> </ul>	○	○		<p><b>知・技</b>比の性質をもとに、整数どうしの比を簡単にすることができる。</p> <p>ア①、ア②、イ①、イ②、イ③、イ④</p>

5	<p>小数や分数で表された比を簡単にすることができる。</p> <p>・小数や分数で表された比を簡単にする方法を考える。</p>	○	○	<p><b>知・技</b>比の性質をもとに、少数や分数の比を簡単にすることができる。</p> <p>ア①、ア②、イ①、イ②、イ③、イ④</p>
6 (本時)	<p>等しい比の性質をもとに、2つの比から部分の数量の求め方を考えることができる。</p> <p>・長方形の縦の長さの求め方を考え、説明する。</p>	○	・	<p><b>知・技</b>比の性質をもとに、2つの比から部分の数量を求めることができる。</p> <p><b>思・判・表</b>比を用いた比べ方を日常生活に生かす問題で、数量の関係を図や式などに表して考えている。(第6～7時を通じて評価)</p> <p>ア①、ア②、イ①、イ②、イ③、イ④</p>
7	<p>部分どうしの比がわかっているときに、全体の数量から部分の数量の求め方を考えることができる。</p> <p>・当たりくじの数の求め方を考え、説明する。</p>	○	○	<p><b>知・技</b>比の性質をもとに、全体の数量から部分の数量を求めることができる。</p> <p>ア①、ア②、イ①、イ②、イ③、イ④</p>
8	<p>日常生活の場面で、必要な情報を選択して、比を用いて問題を解決することができる。</p> <p>・必要な情報をもとに、卒業式の日の写真の中の身長求め方を考える。</p>		○	<p><b>思・判・表</b></p> <p>日常生活の事象について、比によって数量の関係を表現できる場合があることに着目し、比を用いて問題を解決している。</p> <p>ア①、ア②、イ①、イ②、イ③、イ④</p>
9	<p>学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p>	○	○	<p><b>知・技</b>学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p><b>思・判・表</b>比の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p> <p>ア②</p>

※ 「○」は評定に用いる評価、「・」は形成的評価・学習改善につなげる評価

### 3. 研究主題との関連

#### ア 振り返りの視点を明確にする

場面	①終末場面において、本時の課題や学習方法に適した視点を与え、課題に正対した振り返りを「振り返りシート」に文章で記述する。 ②導入場面・終末場面で定着を図る確認問題や練習問題を「振り返り」として設定する。
意図や工夫	①視点を「学習内容の確認」「(知識の) 関係づけ」「協働的な学び」「日常とのつながり」の4観点に分けて示すことで、課題に正対した振り返りを促し、自らの学びを実感させる。 ②学んだ内容に合わせた適用問題に取り組み、前時までの学習や本時で学んだことを確認し定着させる。

#### イ 有効的な振り返りの活用

場面	①導入場面や展開場面において、前時までの学習が本時の学習にどう関わるのかを、児童の振り返りをもとに確認する。 ②「振り返りシート」を1枚の用紙にまとめる。 ③授業の終末場面において、適宜発表や読み返す時間を設ける。 ④振り返りのコピーを添付した学習の足跡を掲示する。
意図や工夫	①本時の課題解決の見通しを持たせやすくするとともに、既習の知識を関連付けたり統合したりする足がかりとさせる。 ②OPP形式の「振り返りシート」にすることで、自己の変容の過程単元全体で見取れるようし、学ぶ意味や自己効力感の獲得につなげる。また、授業者は児童の認知過程を把握することで、理解度に応じて授業にフィードバックする。 ③記述した振り返りの内容を読み返したり、じっくりと見返す時間を確保したりすることで、自らの学びに気づくメタ認知能力を高める。 ④既習事項の確認を視覚的に容易にするとともに、当事者意識を高め、学びを自分事として捉えるようにする。また達成感・充実感を味わわせ、主体的に学ぶ力を高める。

#### 4. 本時について

##### (1) 本時の目標

- ・比の性質をもとに、2つの比から部分の数量を求めることができる。(知・技)
- ・比を用いた比べ方を日常生活に生かす問題で、数量の関係を図や式などに表して考えている。(思・判・表)

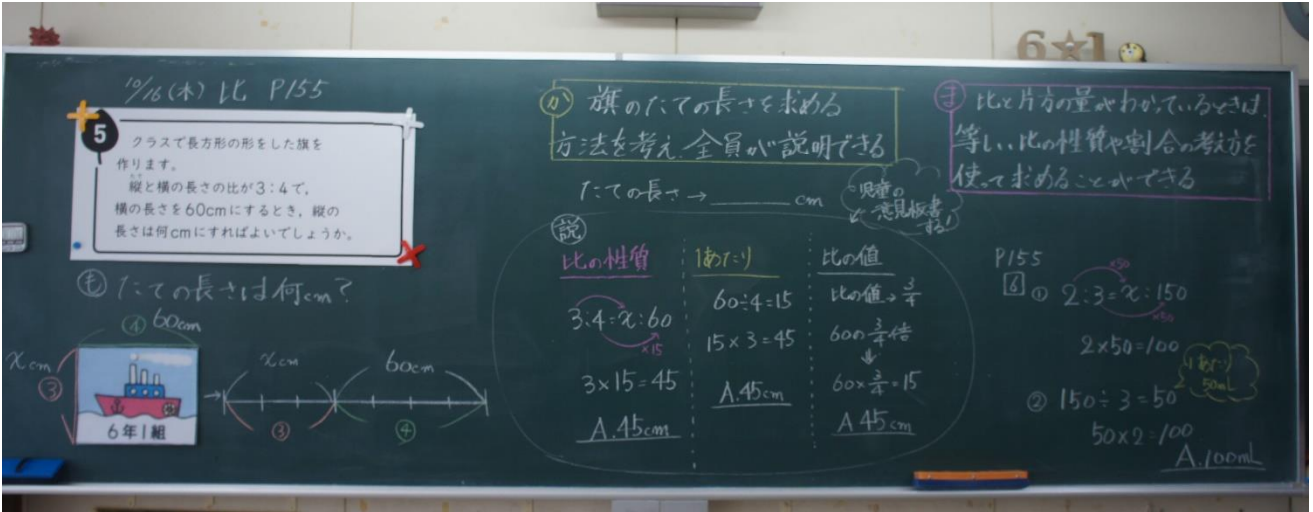
##### (2) 本時の展開

	児童の学習活動	教師の手立て	評価規準・方法
導入 (8分)	1 前時の振り返りをする 2 問題を把握する 5  クラスで長方形の形をした旗を作ります。縦と横の長さの比が3:4で、横の長さを60cmにすると、縦の長さは何cmにすればよいでしょうか。 ・縦と横の比はわかっているけど、実際の縦の長さがわからない。 ・縦の長さがわからないからx cmにするとよさそうだ。	・前時までの児童の振り返りを紹介し、本時の学習課題への意識付けをさせる。 ・具体物を提示し、問題場面を想起しやすくする。 ・数直線を用いて説明する。	イ①振り返りから本時の学習内容につなげる
展開 (25分)	旗のたての長さを求める方法を、図や式を使って全員が説明できるようにする。		イ①知識の関連付け、統合  【評価の観点】 思考・判断・表現 (評価方法) 観察・ノート (評価規準) 縦の長さの求め方を、図や式を用いてノートに書いている。
	4 教科書の2人の考えを参考にしなが ら、ノートに縦の長さの求め方 の説明を書く。	・教科書の考え方に触れ、課題解決の見通しや、見方・考え方を働かせるようにしてから課題に取り組ませる。	
	5 考え方を交流する。 ①等しい比の性質		
	3:4=x:60だから、等しい比の性質を使うと、4を15倍すると60になる。だから3を15倍すると45cmになる。		
	②1あたりの量を求める		
横の比は4で60cmだから、1あたりを求めると60÷4=15cmになる。縦の比は3だから、15×3=45cmになる。			
	③比の値を求める		
縦の長さとの横の長さの比は3:4。比の値は3/4なので、縦の長さは横の長さの3/4倍だから、60×3/4=45cmになる。			
終末 (12分)	6 本時の学習内容をまとめる。		ア②適用問題 ア①記述 イ②OPP 【評価の観点】 知識・技能 (評価方法) 観察・ノート (評価規準) 比の性質をもとに2つの比から部分の数量を求めている。
	比と片方の量がわかっているときには、等しい比の性質や割合の考えを使って求めることができる。		
	7 学習の確認をする。 ・P155⑥に取り組む。	・机間巡視し、定着を見取りながら指導する。	
	8 本時の振り返りをする。	・早く書けた児童から随時発表させる。	

(3) 本時の評価

- ・比の性質をもとに、2つの比から部分の数量を求めることができる。(知・技)
- ・等しい比の性質をもとに、2つの比から部分の数量の求め方を図や式を用いて考えている。(思・判・表)

5 板書計画



6 本時の資料

- ・振り返りシート

表

**振り返りをするときの視点**

①何ができるようになったか。  
(〇ができるようになった。)

②どんな考え方をしたか、課題が解決したか。  
(この問題が、△△と考えるとできる！)

③忘れの考え方がわかりやすかったか。  
(～さんが、◇◇という考え方をしていた、参考になった。)

④今日の学習がどんな場面に使えるだろうか。  
(□□という知識は、生活で△△の場面で見ると考えた。)

学習前と学習後の内容を見比べて、思ったこと・感じたことなどを書いてみよう。

---



---



---

6年生 算数 振り返りシート

単元名

6年 組 番

氏名

裏

【学習前】 学びの意欲や学習態度、知識・技能の準備状況を確認し、必要に応じて学習の準備を整えます。また、学習の進捗や理解状況を把握し、必要に応じて学習の調整を行います。

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_

<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>	<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>	<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>	<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>
<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>	<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>	<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>	<input type="checkbox"/> 学習の意欲や、一歩大胆な取り組みができるようになったか。 <small>学習意欲や態度、学習態度を確認する。</small>

【学習後】 学びの意欲や学習態度、知識・技能の準備状況を確認し、必要に応じて学習の準備を整えます。また、学習の進捗や理解状況を把握し、必要に応じて学習の調整を行います。

③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_